

港区中川学区

震災避難行動マップ

【凡例】

- 指定避難所：家屋の倒壊などにより被害を受けた方、あるいは被害を受けるおそれのある方を一時的に滞在させるための施設。
- 広域避難場所：大災害が発生した場合、身を守るために必要な面積を有した場所。
- 町内会一時集合場所：広域避難場所へ避難するまでの中継地として、一時的に避難して様子を見る場所。
- 津波避難ビル 地域防災協力事業所 地下式給水栓 公衆電話 街頭消火器
- AED 防災倉庫 ブロック塀 狭小道路 避難経路の例

●指定避難所一覧

施設名称	避難場所	収容人数
中川小学校	体育館 特別活動室 トワイライトルーム 視聴覚室 家庭科室 理科室 図工室 音楽室 図書室	620
港明中学校	格技場 体育館 特別活動室 心の教室 ランチルーム	803
中川コミュニティセンター	第1会議室 第2会議室	33

●津波避難ビル

施設名称・マンション名	収容人数
港明中学校(校舎棟)	865
中川小学校(校舎棟)	1,504
港区役所総合庁舎	1,440
辰巳荘1棟	99
辰巳荘2棟	103
アピタ東海通店	20,840
杉江精機株式会社	450

●地域防災協力事業所一覧

事業所名	協力内容
平安会館 みなと斎場	・敷地を提供
ユニー株式会社 アピタ東海通店	・南側平面駐車場を臨時避難場所として提供
エディオン 東海通店	・緊急時の一時的な集合場所として、駐車場を提供する。 ・その他避難者への一時的な支援を行う。
株式会社UACJ 名古屋製造所	・救助資機材として、ジャッキ、バール等の提供 ・フォークリフト(運転手付)の提供 ・救命機器として、自動体外式除細動器(AED)の提供
株式会社 南部企業	・会社敷地の一時避難所 ・ユニック車及び運転手 ・土嚢袋、スコップ、ツルハシの提供

わが家で津波避難を考えよう

- 大津波警報発令時にはすぐ避難！
徒歩で避難！
車での避難はしない！
- すぐ避難できるようにするための備えが大切。
家族一人ひとりの非常持出袋を事前準備！
すぐ持ち出せる場所に置いておく！
- 津波避難先は、万一の住民殺到に備え
あらかじめ2か所以上を考えておく！

わが家の津波避難先

わが家の津波避難先

地震発生! 災害時の対応

港区中川学区 災害時の特性と対策

南海トラフ巨大地震が発生した場合、名古屋市の中でも比較的強い**震度6強**の揺れが想定されます。まずは自分の身を守りましょう。このときに怪我をしないよう、日頃から家具の転倒防止などの耐震対策に努めましょう。

また、津波が他の地区よりも早く到来します。**浸水が1.5mから2.0m**に及ぶ箇所もあります。名古屋港への津波(30cm)到達時間は96分と予測されており、遡上はその後から始まります。この時間を最大限に使い津波避難ビルへ避難しましょう。

また、**液状化現象**も起きる可能性も高い地区です。建物が傾いたり、路上に泥水が溢れ出して通ることができなくなります。これらを踏まえ、適切な避難先と、そこまで安全にたどり着くための経路をあらかじめ考えておきましょう。

身の安全の確保

- ◎倒れてきそうな家具、ガラス戸などから離れる
- ◎机の下に隠れるなど頭を守り、揺れがおさまるまで待つ
- ◎安全に消せる場合は火を消す
- ◎可能であれば、扉を開けて出口を確保する
- ◎屋外にいる場合は、建物など倒壊の危険がある場所からすぐ離れる



提供：効果的な防災訓練と防災啓発提唱会議

丈夫な机がないときは、クッションやかばん、ナベなど身近にあるもので頭を守る!

寝室に倒れそうな家具を置かないように!

- ◎扉を開けて出入口の確保
- ◎家屋の被害状況の確認
- ◎火元を消す・ブレーカーを落とす
- ◎ガス・水道の元栓を閉める
- ◎家族、隣近所への声掛け、安全・安否の確認、情報交換
- ◎テレビやラジオ等で正しい情報を収集

火が出たら三角バケツで消火する!

災害の危険解消

自宅での滞在が可能か



一人では逃げられない方への対応

過去の災害では、周囲からの「声かけ」と「避難の手伝い」が、下記のような高齢者や障がいのある方などの避難行動を早めました。日頃から一人で逃げられない方を把握し、地域みんなで、いち早く避難行動が取れるよう協力しましょう。

情報の入手や判断の難しい方

(例えばこんな方)

目が見えない方、耳の聞こえない方、認知症の方、知的障がいのある方、日本語が苦手な外国人、ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯など

(対応方法)

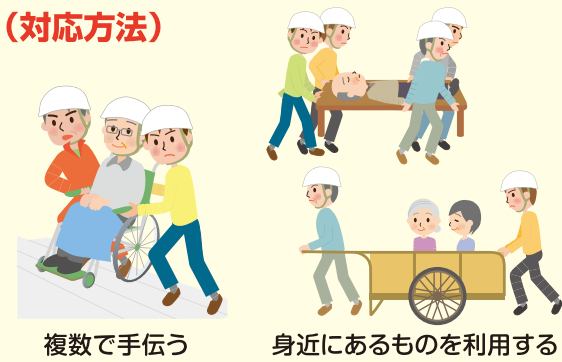


移動が難しい方

(例えばこんな方)

普段、杖・押し車・車椅子などを使っている人、寝たきりの人、けが人、病人、妊婦さんなど

(対応方法)



津波避難ビルを 目指して避難開始

津波警報解除
避難勧告解除

揺れが おさまった

地震発生!

津波から安全に避難するための5つのポイント

- 1 揺れが収まったら高台へ時間がなければ津波避難ビルへ避難!
- 2 隣近所へ声をかけて原則徒歩で避難!
- 3 高齢者や障がいのある方などの避難誘導・援助を!
- 4 引き返さない! 安全確認が済むまで避難継続を!
- 5 海岸や川沿いには絶対近づかない!

